

令和８年度 第１回糸島市渡船運営委員会 議事録要旨

【日時】令和８年６月１９日（金）１０時３０分 ～ １１時１０分

【場所】糸島市役所５０１号会議室

【出席者】（委員）須田委員、藤委員、畑中（亮）委員、木村委員、畑中（美）委員
（事務局）コミュニティ推進課 松藤課長、松尾船長、毛利、上籠

１．協議事項

（１）令和７年度渡船事業特別会計決算（見込）について

委員；島内利用者数が昨年度と比べて減少している。

事務局；定期検査で代船運航であったことが理由だと考える。

【承認】

（２）令和９年度地域公共交通確保維持計画（離島航路）について

委員 Ｐ１１ 離島航路３ヵ年計画の２運航計画の改善について、「運航ダイヤの見直しなどを行い、利便性の向上を図りたい」と記載があるが、ダイヤの見直しや増便等を計画しているのか。

事務局 現状では考えていない。今後の計画になるので利用者の状況等から必要に応じて変更することが考えられるため記載させていただいている。

委員 小学校教師としては、午後の会議等で出席しようにも、第２便では早すぎて、第３便では間に合わないケースが発生しているので、その間の便があればよいと思い発言した。

事務局 状況は理解した。ご意見いただき感謝する。

しかし、ご覧いただいたように渡船の運航は赤字経営である。今以上の増便については黒字になるような便でないと増やすのは困難である。運航経費等で計算した場合、１便当たり７０人程度乗っていただかなくては黒字にならない計算である。

委員 理解した。

【承認】

その他

・渡船職員の採用について

委員 以前、本委員会でもお願いさせていただいたが、渡船職員の定年等もあるため採用を進めてもらいたいと考えている。

事務局 前向きに検討している。

・共通予備船について

事務局 共通予備船（県内離島航路で共通に利用する代船）について、令和７年度に基本協定を締結し、宗像市を中心に建造に向け協議を進めていく方針である。具体的な仕様や運航、また姫島～岐志航路への導入についても未定である。

委員；代替船の利用者の想定はどの程度か。

事務局 宗像市の航路（フェリー利用）等大規模輸送の航路を含めた計画になるので旅客定員１２０人程度である。

委員 棧橋に着けない。

事務局 姫島港の棧橋、喫水に合わせた船舶仕様を検討している。今後、報告できる内容があれば随時共有する。また、漁協の鮮魚運搬船は引き続き利用させていただく考えである。